

JP1腕試しテスト(ジョブ管理)

JP1腕試しテストは、JP1ジョブ管理製品を利用されている方向けにJP1の基礎知識をご確認いただくためにご提供しています。

また、株式会社アシスト(以下、弊社)が提供しているJP1ジョブ管理研修受講後の復習用としてもご利用いただけます。

なお、ご利用にあたっては以下をご確認ください。

- ・弊社の許可なく本資料の改変、再配布することをご遠慮ください。
 - ・誤植等は早急に修正を行い改訂版を公開する予定ですが、ご利用は自己責任となります。
 - ・本資料の問題に関するお問い合わせはご遠慮ください。
- ※弊社JP1研修受講者は、受講後3ヶ月間のアフターサポートサービスをご利用下さい。

解答用紙

問題番号	解答	問題番号	解答
問 1		問 16	
問 2		問 17	
問 3		問 18	
問 4		問 19	
問 5		問 20	
問 6		問 21	
問 7		問 22	
問 8		問 23	
問 9		問 24	
問 10		問 25	
問 11		問 26	
問 12		問 27	
問 13		問 28	
問 14		問 29	
問 15		問 30	

得点 / 30問

メモ欄

JP1ジョブ管理コース 腕試しテスト

問題

問1.

空欄a～cの組み合わせで、正しいものを選択してください。

JP1/AJS3-Viewログイン画面では「ユーザー名」に【 a 】名を指定し、「パスワード」にユーザーに対応付けたパスワードを指定する。また、「接続ホスト名」とは、【 b 】が導入済みのサーバ名を指定し、【 c 】で指定することも可能である。

- ① a:JP1ユーザー、b:JP1/AJS3-Manager、c:IPアドレス
- ② a:JP1ユーザー、b:JP1/Base、c:IPアドレス
- ③ a:OSユーザー、b:JP1/Base、c:JP1/AJS3-Agent導入済みサーバ名
- ④ a:OSユーザー、b:JP1/AJS3-Manager、c:JP1/AJS3-Agent導入済みサーバ名

問2.

JP1/AJS3のオプション製品と説明の組み合わせで誤った記述を選択してください。

- ① 製品名:JP1/AJS3-Print Option
説明:ユニットの定義情報やジョブの実行予実績を帳票として出力する製品。
- ② 製品名:JP1/AJS3-Definition Assistant
説明:ユニット定義情報をMicrosoft Excelに帳票レイアウト形式で出力し修正後に反映する製品。
- ③ 製品名:JP1/AJS3-User Job Operation
説明:担当者別などユーザーに必要なジョブの状態監視や、実行を行う製品。
- ④ 製品名:JP1/AJS3-Web Operation Assistant
説明:Webクライアント(ブラウザ)からユニット定義や実行監視を行う製品。

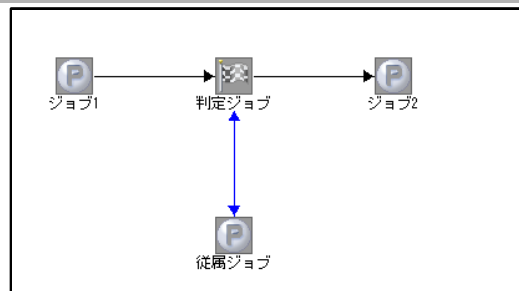
問3.

JP1の表示や接続制限機能の説明として誤った記述を選択してください。

- ① JP1ユーザーにアクセス権(参照権限)が設定されているスケジューラーサービスのみを表示できる。
- ② JP1/AJS3-Viewからの同時接続数をスケジューラーサービス単位で設定できる。
- ③ JP1/AJS3-Managerへの接続制限を行う場合は、設定ファイルに接続を許可するエージェントサーバのIPアドレスと、自ホストのIPアドレスの両方を指定する必要がある。
- ④ JP1/AJS3-Agentへの接続制限を行う場合は、設定ファイルに接続を許可しないマネージャーサーバのIPアドレスを指定する必要がある。

問4.

判定ジョブに関する説明で、誤った記述を選択してください。



- ① [ジョブ1]終了後、[判定ジョブ]で判定を行い、判定結果が「真」の場合には、[従属ジョブ]が実行される。
- ② [判定ジョブ]は[ジョブ1]の終了コードや、ファイルの有無について判定を行うことができる。
- ③ [判定ジョブ]の後に「従属ジョブ」で異常終了した場合は「従属ジョブ」から再実行できる。
- ④ [従属ジョブ]が実行された場合は、[ジョブ2]は実行されない。

問5.

ジョブネット定義時に使用するジョブアイコンに関する説明で、誤った記述を選択してください。

- ① 「ネストジョブネット」を使用することで、ジョブネット内に階層を作成できる。
- ② PCジョブ実行前に、対象のファイルの有無を確認し、ファイルが存在する場合はA処理を実行後にB処理を実行、ファイルが存在しない場合にはB処理と、ジョブの実行を振り分ける場合には、「判定ジョブ」を使用する。
- ③ 指定したファイルを監視し、指定した条件を満たす文字列が書き込まれた時点で後続のジョブを実行する場合は、「ファイル監視ジョブ」を使用する。
- ④ 「JP1イベント送信ジョブ」で、任意のJP1イベントを発行し、「JP1イベント受信監視ジョブ」で、JP1イベントの受信監視をすることで、サーバ間のジョブネット実行順序制御ができる。

問6.

空欄a～cの組み合わせで、正しいものを選択してください。

ジョブネットエディタの編集モード選択ボタンは、【 a 】間の関連線の設定を行うことができる。
 【 b 】ボタンを使用すると、【 a 】間の関連線を複数連続して定義できる。
 【 c 】ボタンを使用すると、定義済みの関連線を削除できる。
 また、「条件接続」ボタンは、【 d 】を定義する場合のみ、使用する。

- ① a:ジョブネット、b:関連線連続接続、c:定義削除、d:ORジョブ
- ② a:ジョブ、b:関連線連続接続、c:関連線削除、d:判定ジョブ
- ③ a:ジョブ、b:複数接続、c:関連線削除、d:ORジョブ
- ④ a:ジョブネット、b:複数接続接続、c:定義削除、d:判定ジョブ

問7.

「UNIXジョブ」「PCジョブ」に共通する「終了判定」では、「しきい値による判定」を選択することで、ジョブの終了コードにより、ジョブの状態を判定します。

以下の設定を行った場合の状態の判定として、誤った記述を選択してください。

警告しきい値「5」、異常しきい値「10」

- ① ジョブの終了コードが「0」の場合、状態は「正常終了」となる。
- ② ジョブの終了コードが「5」の場合、状態は「警告検出終了」となる。
- ③ ジョブの終了コードが「10」の場合、状態は「警告検出終了」となる。
- ④ ジョブの終了コードが「12」の場合、状態は「異常検出終了」となる。

問8.

実行登録解除に関する説明で、誤った記述を選択してください。

- ① 「期間指定」で「すべて」を選択して登録解除すると、ジョブネットの実行結果(保存世代)が画面上から削除される。
- ② 実行中のジョブネットは、実行登録を解除すると、強制終了される。
- ③ 起動条件監視中のジョブネットは、実行登録を解除できない。
- ④ 「期間指定」で「すべて」を選択して登録解除すると、ジョブネットエディタでジョブの追加や削除が行えるようになる。

問9.

ユニットの実行状態を確認した後の対処方法として誤った記述を選択してください。

- ① ジョブネットの実行がスタートしないため、ジョブネットモニタで現在の状況を確認したところ、先頭のジョブが黄色だった。黄色は「保留」状態を表しているため、モニタ画面から「保留解除」操作をしたところ、ジョブネットの実行が開始した。
- ② 監視画面でPCジョブの状態が赤色、または薄い赤色だった。
- ③ 起動条件付きジョブネットを、起動条件を使用して実行し、ジョブネットの状態を確認したところ、ジョブネット内のジョブはすべて空色だったが、起動条件内のジョブは緑だった。起動条件の監視が正常に行われているため、対処は行わなかった。
- ④ 監視画面でジョブの状態が灰色になっていた。詳細を確認したところ、「未実行終了」だったため、異常が発生していると判断し、再実行を行った。

問10.

カレンダー定義に関する説明で、正しい記述を選択してください。

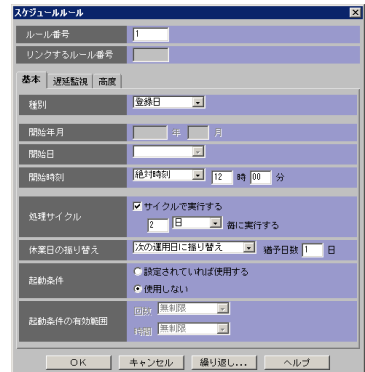
- ① カレンダー上で薄い赤の表示は「特別な運用日」を表している。
- ② カレンダー上で白色(無色)の表示は「休業日」を表している。
- ③ カレンダー上で橙色の表示は「運用日」を表している。
- ④ カレンダー上で緑色の表示は「運用日」を表している。

問11.

図のようなカレンダーとスケジュールルールを設定しているジョブネットを、3月13日に計画実行登録を行いました。実行日となる日付の組み合わせとして、正しい記述を選択してください。

```

=====
<カレンダー>
【薄い青】:月・火・水・金
【薄い赤】:木・土・日
【濃い赤】:28日
=====
<スケジュールルール>
種類           :登録日
開始時刻       :12:00
処理サイクル   :2日毎に実行する
休業日の振り替え :次の運用日に振り替え
猶予日数       :1日
=====
    
```



- ① 実行予定無し
- ② 13日、15日、17日、19日、21日、24日、26日、31日
- ③ 14日、17日、19日、21日、24日、25日、31日
- ④ 17日、19日、21日、24日、26日、31日

問12.

ネストジョブネットに個別にスケジュールを設定する場合の説明として、正しい記述を選択してください。

- ① ネストジョブネットのスケジュールは、上位ジョブネットのスケジュールとは関係なく設定できる。
- ② ネストジョブネットの「スケジュールルール」画面では、上位ジョブネットの「スケジュールルール」画面で設定した「ルール番号」を指定する必要がある。
- ③ ネストジョブネットに個別にスケジュールを設定する場合は、上位ジョブネットとは別に実行登録をする必要がある。
- ④ ネストジョブネットに個別にスケジュールを設定する場合は、必ず参照するカレンダーを指定する必要がある。

JP1ジョブ管理コース 腕試しテスト

問13.

スケジュールルールの「処理サイクル」、「休業日の振り替え」の指定方法として、誤った記述を選択してください。

- ① 「処理サイクル」は「分、時、日、週、年」のサイクルで指定ができる。
- ② 休業日の振り替えで「実行しない」を選択すると、実行予定日が「休業日」だった場合、ジョブネットは実行しない。
- ③ 休業日の振り替えで「次の運用日に振り替え」（猶予日数:2日）を指定すると、実行予定日が「休業日」だった場合、ジョブネットは直後の運用日に最大で2日目まで振り返る。
- ④ 「処理サイクル」を指定しない場合は、開始日時で指定したタイミングに1回だけジョブネットが実行される。

問14.

ジョブグループの「基準日」や「基準時刻」を利用してスケジュールを定義する場合に、下位のジョブネットの「スケジュールルール」画面で指定する項目として、正しい記述を選択してください。

- ① 相対日、相対時刻
- ② 相対設定、相対日時
- ③ 相対範囲、相対時刻
- ④ 相対日、相対時間

問15.

以下の2つのジョブネットがあります。毎月最終金曜日には、ジョブネットAは実行せず、ジョブネットBだけを実行したい場合の設定方法として、正しい記述を選択してください。

「ジョブネットA」

毎週金曜に週次処理を実行するジョブネット。
スケジュールルールは、毎週金曜日に実行。

「ジョブネットB」

毎月最終金曜日に月次処理を実行するジョブネット。
スケジュールルールは、毎月最終金曜日に実行。

- ① ジョブネットBの「スケジュールの設定」画面で「排他スケジュール」にチェックを入れ、排他ジョブネット名に「ジョブネットA」を指定する。
- ② ジョブネットAの「スケジュールの設定」画面で「排他スケジュール」にチェックを入れ、排他ジョブネット名に「ジョブネットB」を指定する。
- ③ ジョブネットA、Bそれぞれの「スケジュールの設定」画面で「排他スケジュール」にチェックを入れ、排他ジョブネット名に「ジョブネットA」「ジョブネットB」と相互に定義する。
- ④ ジョブネットAに計画実行登録を行ったあと、マンスリースケジュール画面上で、毎月最終金曜日の予定を「計画一時変更」の「実行中止」機能を使って、削除する。

問16.

実行登録に関する説明で、誤った記述を選択してください。

- ① 計画実行登録は、定義されているスケジュールに従って、毎回実行予定を算出して実行される。
- ② 確定実行登録は、定義されているスケジュールに従って、期間指定や世代数を指定して確定予定として実行される。
- ③ 即時実行登録は、定義されているスケジュールに関係なく、登録と同時にジョブネットが実行される。
- ④ 実行登録は、ジョブネット、ネストジョブネット単位で行うことができるがジョブグループ単位では登録できない。

JP1ジョブ管理コース 腕試しテスト

問17.

監視画面に関する説明で、誤った記述を選択してください。

- ① メイン画面では、デフォルトの場合、ユニットの現在の状態、あるいは直近の実行結果を表示する。
- ② デイリースケジュールやマンスリースケジュールでは、今後の予定を確認できる。
- ③ ジョブネットモニタでは実行結果を確認する際、異常が発生した時刻について確認できる。
- ④ サマリー監視画面では、複数のジョブグループのユニットをまとめて表示でき、監視対象ユニット数に上限はない。

問18.

マンスリースケジュールに関する説明で、正しい記述を選択してください。

- ① 計画実行登録されたジョブネットやジョブの状態は●、確定実行登録の状態は■で表示される。
- ② 実行登録していないジョブネットの予定は△で表示できる。
- ③ ジョブグループを指定して「保留属性」を設定できる。
- ④ ジョブネットを指定して「計画一時変更」→「ジョブ状態変更」を操作できる。

問19.

ファイル監視ジョブに関する説明で、正しい記述を選択してください。

- ① 監視対象ファイル名は、絶対パスでも相対パスでも指定できる。
- ② 監視対象ファイル名の一部にワイルドカード「*」を指定できる。
- ③ 監視対象ファイルを指定する際に、ディレクトリ名の一部にワイルドカード「*」が指定できる。
- ④ 監視対象ファイルは、JP1/AJS3-Agentが未導入のサーバのファイルも指定できる。

問20.

起動条件に関する説明で、誤った記述を選択してください。

- ① 起動条件は、ひとつのジョブネットに最大32個設定できる。
- ② 起動条件は複数指定でき、AND条件かOR条件で成立の条件を選択できる。
- ③ 起動条件を指定したジョブネットの実行結果は、監視世代と実行世代の状態が表示される。
- ④ 起動条件を指定したジョブネットは、実行時に必ず起動条件が使用される。

問21.

「起動条件」の設定に関する説明で、正しい記述を選択してください。

- ① 起動条件には「JP1イベント受信監視ジョブ」等、イベントジョブやアクションジョブを定義できる。
- ② 「起動条件の有効範囲」で「回数:2回」「時間:絶対時刻16:00」と指定した場合、ジョブネットの実行開始時刻後に、起動条件が2回成立しても、16時にならない限り、ジョブネットは実行されない。
- ③ 「起動条件の有効範囲」を「回数:無制限」「時間:無制限」に設定すると、ジョブネットの実行開始後は、手動で停止するまで起動条件が成立するたびに、ジョブネットが実行される。
- ④ 起動条件を複数指定した場合に実行順序を指定できる。

JP1ジョブ管理コース 腕試しテスト

問22.

JP1/AJS3-Viewの画面で設定できるカスタマイズの説明として誤った記述を選択してください。

- ① 起動モードを「標準モード」で監視する場合も、実行登録済みのジョブネットを「ジョブネット定義」機能メニュー選択時に表示できる。
- ② 「デフォルト値の設定」を使用することで、変更を許可する項目と許可しない項目を指定できる。
- ③ ログインする全JP1ユーザーに対してのメニュー項目の表示・非表示を一括で設定できる。
- ④ ジョブネットエディタ画面の標準タブ、イベントタブ、アクションタブ、カスタムジョブタブ、ツールタブに含まれるジョブアイコンの表示・非表示を設定できる。

問23.

JP1製品を導入する場合にインストールに順序性があり先にインストールする必要がある製品を選択してください。

- ① JP1/Base
- ② JP1/AJS3-Manager
- ③ JP1/AJS3-Agent
- ④ JP1/AJS3-View

問24.

実行エージェントの説明として誤っている記述を選択してください。

- ① 実行エージェント名は実行先サーバのホスト名とは別の名前で作成できる。
- ② 実行エージェントには同時実行ジョブ数を時間帯毎に指定できる。
- ③ 実行エージェント名を使わずに実行ホスト名を利用した運用もできる。
- ④ 実行エージェントはJP1/AJS3-Agentが導入されているサーバを自動検知して登録できる。

問25.

マネージャーホストに実行エージェントホストを登録するコマンド「ajsagtadd」コマンドを実行するために必要なJP1権限レベルを選択してください。

- ① JP1_Rule_Admin
- ② JP1_AJS_Admin
- ③ JP1_JPQ_Admin
- ④ JP1_SSO_Admin

問26.

空欄a、bの組み合わせで、正しいものを選択してください。

JP1/Base環境設定画面でJP1ユーザーを作成すると、[a] 別に権限レベルを設定できる。
ジョブを実行するためにはJP1ユーザーと、ジョブ実行時の[b]のマッピングを行う必要がある。

- ① a:JP1資源グループ、b:マネージャーサーバ
- ② a:認証サーバ、b:マネージャーサーバ
- ③ a:認証サーバ、b:JP1ユーザー
- ④ a:JP1資源グループ、b:OSユーザー

JP1ジョブ管理コース 腕試しテスト

問27.

JP1ユーザーに、以下のような役割を設定する権限として、正しいJP1権限レベルを選択してください。

- ・ユニットの定義内容を変更できる。
- ・ジョブやジョブネットの現在の状態や過去の実行結果を確認できる。
- ・実行登録や、登録解除の操作はできない。

- ① JP1_AJS_Operator
- ② JP1_AJS_Editor
- ③ JP1_AJS_Manager
- ④ JP1_JPQ_Admin

問28.

下記のようなJP1ユーザーを定義した場合の説明として、誤った記述を選択してください。

※上位ジョブグループ等の資源グループは設定無し。

JP1ユーザー名[jp1user1] 資源グループ名[sales] 権限レベル[JP1_AJS_Admin]
JP1ユーザー名[jp1user2] 資源グループ名[ope] 権限レベル[JP1_AJS_Operator]

- ① ジョブネットに資源グループの設定をしていない場合、jp1user1とjp1user2から、それぞれ設定した権限レベルでアクセスできる。
- ② ジョブネットに資源グループ「sales」を設定している場合は、jp1user1は、ジョブネット内の定義変更や、ユニットの名称を変更できる。
- ③ ジョブネットに資源グループ「ope」を設定している場合は、jp1user2は、ジョブネット内の定義内容参照や、実行登録ができる。
- ④ ジョブネットに資源グループ「admin」を設定している場合は、jp1user1とjp1user2からは、アクセスできない。

問29.

ユーザーマッピング機能に関する説明で、誤った記述を選択してください。

- ① JP1ユーザーに対しては、複数のOSユーザーをマッピングして、各ジョブ定義時に実行時に使用するOSユーザーを指定できる。
- ② ユーザーマッピング後に、OSユーザーのパスワードを変更した場合には、JP1/Base環境設定画面において、OSユーザーのパスワードを変更する必要がある。
- ③ JP1ユーザーにマッピングするOSユーザーは、ローカルユーザー、ドメインユーザーどちらでも可能である。
- ④ OSユーザーがジョブを実行する際は、マッピングされたJP1ユーザーのJP1権限レベルを使用して実行する。

問30.

JP1ユーザーのパスワード変更を行う説明として誤った記述を選択してください。

- ① JP1/Baseが導入されている任意のサーバの環境設定画面からJP1ユーザーのパスワードを変更した。
- ② JP1/AJS3-Viewのメニューからログインしているユーザーが自分でパスワードを変更した。
- ③ JP1/Baseが導入されている任意のサーバから「jbschgpasswd」コマンドで認証サーバを指定し、該当するJP1ユーザーのパスワードを変更した。
- ④ ActiveDirectry(以下、AD)連携を設定している認証サーバのため、ADサーバに登録しているユーザーのパスワードを変更した。

解答一覧

問題番号	解答	問題番号	解答
問 1	①	問 16	④
問 2	④	問 17	④
問 3	④	問 18	②
問 4	④	問 19	②
問 5	③	問 20	④
問 6	②	問 21	③
問 7	②	問 22	③
問 8	②	問 23	①
問 9	④	問 24	④
問 10	④	問 25	③
問 11	③	問 26	④
問 12	②	問 27	②
問 13	①	問 28	①
問 14	①	問 29	④
問 15	②	問 30	①

得点 / 30問

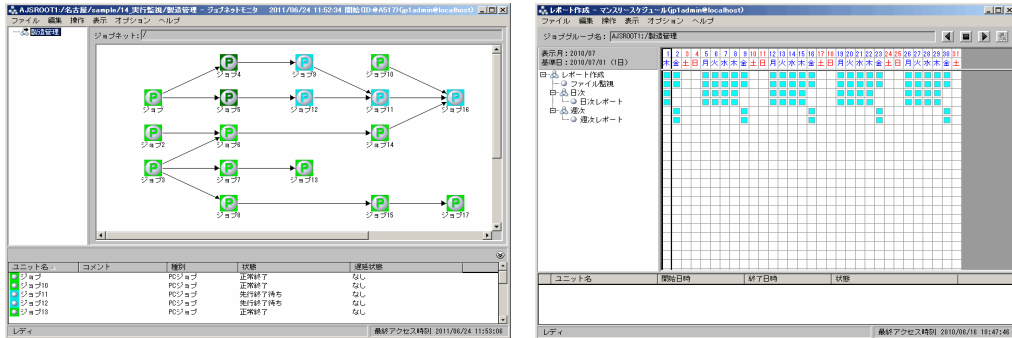
メモ欄

JP1腕試しテストの内容を含む、より応用的な使い方や注意点などを体系的にまとめた研修コースを定期開催しています。また、1社様向けの日数、会場、内容をカスタマイズするオンサイト研修も提供いたします。

JP1ジョブ管理(日数:2日)

オートメーション

JP1で業務処理などのジョブ管理を行う、JP1/AJS3の基本から設定・運用時のポイントまで網羅したコースです。初めてJP1製品をご利用される方から、既に利用されている方まで体系的に知識や操作手順を習得していただけます。



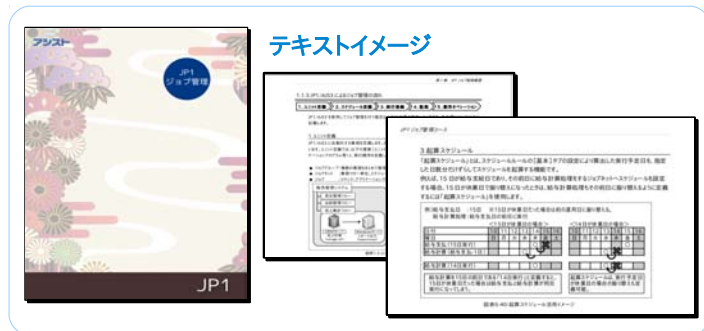
研修では、左の図のようにGUIからアイコンを使用して業務フローをJP1上に定義し、実行・監視する方法をご紹介します。また、右の図のように週次・月次処理の定義内容から、週単位や月単位で監視する画面もご説明いたします。

■受講対象者

- ・JP1/AJS3を利用してジョブ管理システムの設計、構築、運用、オペレーションを担当される方。
- ・JP1/AJS3のジョブ管理機能やポイントを体系的に習得されたい方。

■コース内容

- ・JP1ジョブ管理概要
- ・JP1/AJS3操作概要
- ・環境設定
- ・ユニット(ジョブ)定義
- ・スケジュール定義
- ・実行登録
- ・処理の監視
- ・運用オペレーション



※受講者の声※

- ・単なる入門講義ではなく、実践的な内容で満足しました。
- ・運用保守業務に即応用できそうと思いました。
- ・講師の説明がとてもわかりやすかったです。初心者ですが、理解が深まりました。

株式会社アシスト(URL: <http://www.ashisuto.co.jp/ojt/course/jp1/>)

発行元

アシスト

本資料で使用されるメーカー名、商品名は各社の商標または登録商標です。
当社の文書による許可無しに、本テキストの一部または全部を無断で転記または複製することはできません。
また、本資料に記載された内容については、予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。

JPMA-1503